

新潟県企業短期経済観測調査の概要

(業況感)

- **業況判断D.I.**は、「良い」超幅が拡大した。
—— 製造業は、「良い」超幅が小幅拡大した。非製造業は、「良い」超幅が拡大した。

▽主な業種別の変化要因

		業種	主な要因
製造業	改善	繊維、 はん用・生産用・業務用機械	設備投資関連受注が好調 猛暑による販売増加
	悪化	非鉄金属	原材料価格の変動による利幅縮小
非製造業	改善	建設、宿泊・飲食サービス、 不動産、鉱業・採石業・砂利採取業、 小売	建設工事関連受注の増加 個人消費の持ち直し
	悪化	卸売	設備投資関連受注の後ずれ

- **先行き**については、「良い」超幅が縮小する見通しである。
—— 製造業は、「良い」超幅が縮小する見通し。非製造業は、「良い」超が解消する見通し。

(事業計画)

- 2018年度の**売上高**は、前年を上回る計画、**経常利益**は、前年を下回る計画である。前回調査対比では、売上高は幾分上方修正となった一方、経常利益は下方修正となった。
—— 経常利益は、製造業で、通商政策を巡る世界的な不透明感の高まりや、スマホ関連需要の低迷などから、減益計画となっている。非製造業は、原材料価格上昇による利幅縮小などから、減益計画となっている。
—— 経常利益を前回調査対比で見ると、製造業では、人手不足や原材料価格上昇による利幅縮小などから、下方修正となった。非製造業では、建設工事関連受注の増加などから、上方修正となった。

- 2018年度の設備投資は、前年を上回る計画である。前回調査対比では、下方修正となった。
 - 製造業は、受注好調に伴う能増投資や大規模な効率化投資などから、前年を上回る計画である。非製造業は、需要増加に対応するための各種施設の建設などから、前年を上回る計画である。
 - 前回調査対比で見ると、製造業では、投資案件の翌年度への持ち越しなどにより、下方修正となった。非製造業では、需要増加に対応するための各種施設の建設などから、上方修正となった。

(その他の判断項目)

- 販売価格判断D. I.は、「上昇」超幅が小幅拡大した。仕入価格判断D. I.は、「上昇」超幅が小幅縮小した。
- 雇用人員判断D. I.は、「不足」超幅が拡大した。
- 資金繰り判断D. I.は、「楽である」超幅が小幅拡大した。貸出態度判断D. I.は、「緩い」超幅が小幅拡大した。借入金利水準判断D. I.は、「低下」超幅が縮小した。

以 上